

職員による自己評価

保護者による評価

**A環境面**

- ・勉強机等の配置変更や壁紙・マットの新調により刺激要因を減らしている
- ・必要に応じて部屋を分けて支援をしている

**B児童への支援内容**

- ・年齢や特性のみでなく獲得スキル段階に応じて集団活動においてもグループ分けをしながら支援をしている
- ・曜日ごとに主となる目的を定めて継続的にスキル獲得へアプローチをしている
- ・ABAをベースとした支援の実施

**C関係機関との連携**

- ・区のこども部会や市が主催している勉強会への参加
- ・計画相談支援事業所との情報共有
- ・学校や保護者との情報共有は行っているが保育所等との連携は不足している

**D事業所からの情報発信**

- ・連絡帳・保護者様へのFBの他に利用日の様子の詳細を記した指導記録を配布している
- ・毎週ブログの発信
- ・新型コロナウイルスが5類となった事により保護者会を再開した

**D非常対応**

- ・様々な災害（地震・火災・津波・不審者）などを想定した防災訓練を年2回の決められた訓練以外にも定期的実施。
- ・防災センターへ外出をし防災の知識を深めている

**A環境面**

- ① はい 22    どちらともいえない 1    いいえ 0    無 4
- ② はい 20    どちらともいえない 3    いいえ 0    無 4
- ③ はい 19    どちらともいえない 4    いいえ 0    無 4

**B児童への支援内容**

- ④ はい 22    どちらともいえない 1    いいえ 0    無 4
- ⑤ はい 21    どちらともいえない 2    いいえ 0    無 4
- ⑥ はい 5    どちらともいえない 14    いいえ 4    無 4

**C事業所からの情報発信**

- ⑦ はい 23    どちらともいえない 0    いいえ 0    無 4
- ⑧ はい 22    どちらともいえない 1    いいえ 0    無 4
- ⑨ はい 22    どちらともいえない 1    いいえ 0    無 4
- ⑩ はい 8    どちらともいえない 9    いいえ 6    無 4
- ⑪ はい 17    どちらともいえない 6    いいえ 0    無 4
- ⑫ はい 22    どちらともいえない 1    いいえ 0    無 4
- ⑬ はい 19    どちらともいえない 4    いいえ 0    無 4
- ⑭ はい 21    どちらともいえない 2    いいえ 0    無 4

**D非常対応**

- ⑮ はい 21    どちらともいえない 2    いいえ 0    無 4
- ⑯ はい 20    どちらともいえない 3    いいえ 0    無 4
- ⑰ はい 20    どちらともいえない 3    いいえ 0    無 4
- ⑱ はい 22    どちらともいえない 1    いいえ 0    無 4

事業所内での分析

**【共通点】**

- ・曜日ごとにターゲットを設定している為、目標に向けた継続的な支援が行えている
- ・予定表を改善し活動内容や目的をより分かりやすく周知している

**【相違点】**

- ・送迎時に情報共有は行っているが事業所内部（環境や支援）をお見せする機会が少ない
- ・職員のスキルに差が見られる

## 分析・検討してみても…

### 事業所の強み

ABA の考え方をベースとした支援を取り入れている。

日々の FB のみでなく活動報告写真や利用時の様子を指導記録に詳細を記載・配布したりブログで事業所の取り組みや知識を発信したりする事で振り返り・共有のツールとして活用している。

曜日ごとのターゲットを定めている為、ご利用者様のニーズに応えやすい

毎月内部研修を実施して職員のスキルアップに努めている

### 事業所の改善点

保護者様に事業所の様子を知っていただく機会が少ない

職員によって統一した対応が難しい等スキルに差が見られる

就労に向けた活動を取り入れる

### 事業所の改善への取り組み

保護者様に事業所の様子をさらに知っていただく機会として年2回の面談とは別に保護者会や保護者参加型の活動を取り入れていく

なぜそのような対応・支援をする必要があるか具体的に言語化して職員に伝えていき、短期的でなく長期的な視野を持って支援に携われるようスキルアップを図る

児童の学年が上がってきている為、農業体験や ICT 訓練等の就労に向けた活動を取り入れていく

### ～自己評価を行っての事業所としての感想など～

中高生が増えてきている為、今までの支援にプラスしてより高度な活動を取り入れていく必要性を感じました。そのためにも保護者様・ご利用者様本人の将来の希望のヒアリングを通してニーズの高い活動を練り上げていきたいと思えます。

今回の貴重なご意見も踏まえて、ハートリンク本郷台がご利用者様からより信頼され必要とされる事業所となれるように、今後の事業所の在り方等をスタッフと共に考えていきます。